

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 17 日

事業名称		中央図書館管理費 [図書館維持管理事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央図書館 課 管理 係					課長名	當摩 弘				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 2				
【施策名】 生涯学習の充実						総合計画書 (ページ)	35				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	図書館利用者 →					中央図書館利用者数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	利用者が安全・快適に施設を利用できるようにする。 →					不具合箇所の修繕等の件数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①施設内外の点検・確認(照明・窓・雨漏り等) ②業者に点検委託(自動ドア、冷暖房、エレベーター等) ③工事・修繕 →					①開館日 254日 ②毎月、3か月に一度等の点検(58回) ③7件					
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	114,434	112,441	115,313					
	成果指標	②の数値	件	7.0	9.0	7.0					
	目標	②の目標値									
活動指標		③の数値	①日 ②回 ③件	①275 ②55 ③7	①276 ②56 ③9	①254 ②58 ③7					
3 経費	財源	一般財源		円	83,289,901	76,279,287	75,481,730	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
		特定財源		円	7,100,000	0	0				
		(うち受益者負担)		円							
				円							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0	1.0				
		所要人数(再任用)		人	0.5	0.5	0.5				
		職員人件費(再任用以外)		円	8,253,000	8,244,000	8,310,000				
職員人件費(再任用)		円	1,982,500	1,946,000	1,958,500						
事業費+人件費		円	93,525,401	86,469,287	85,750,230						
4 環境変化等	(1) 開始年度		59 年度								
	(2) 環境の変化 開館後35年以上が経過して、施設全体の老朽化が進んでおり、設備や備品等の破損・故障が頻繁に起きている。優先順位を決め、修繕費等を計上しているが、部品の供給期限が過ぎており、見積を取ることも難しくなっている。										

事業名称	中央図書館管理費〔図書館維持管理事業〕			
担当部署・課長名	中央図書館	課	管理係	課長名 當摩 弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・施設改修において部品交換で対応可能なものについては、保守部品の供給期限に配慮し、事前に対応する必要がある。 ・大規模改修については、図書館の運営に対する影響が最小限となるよう作業工程において十分な調整が必要となる。			
	・主要事業調査に計上した。 ・当初予算や補正予算等により、施設修繕を行った。 ・冷暖房設備の改修工事を行った。 ・消火栓ポンプ交換工事を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・施設改修は、包括施設管理者の保守点検の結果等を参考にし、優先順位を決め計画的に対応する必要がある。 ・大規模改修については、図書館の運営に対する影響が最小限となるよう作業工程において十分な調整が必要となる。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・専門機関にも相談し、施設、備品等の修繕を計画的に行う必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	・市建築課に相談し、施設・備品等の修繕が必要な箇所とその対応策について整理を行う。 ・専門機関から見積もりをとり、緊急性の高いものから実施計画に上げて予算計上し、施設の長寿命化を図っていく。			